

○観光の現状（特に新型コロナウイルス感染症の影響に関するもの）

1 観光事業者・観光関係団体

- 収束の見通しが立たない
- 観光客等の減少や集客イベントの中止等により、売り上げが激減
- テイクアウト開始、バイキングから固定メニューへの変更など

2 宿泊事業者

- 県外からの来客が多いため、20%程度の予約状況が続いている
- 緊急事態宣言が解除されても、宿泊客の動きがない

3 交通事業者

- インバウンド、国内旅行客ともに減少
- 例年は大型連休などで活気がある時期だが、観光客がほぼゼロ
- 秋頃からの予約が少しずつ入ってきているが、第二波が発生すれば壊滅的な被害になる

○観光振興における短期的な課題（特に新型コロナウイルス感染症からの回復に関するもの）

1 観光事業者・観光関係団体

- 感染対策の徹底と、安全・安心のアピール
- ターゲットを絞った誘客（東北域内相互、国内）
- 魅力のアピールと、経済及び観光活動の活性化
- 魅力的な観光地域づくりと、連帯感の共有

2 宿泊事業者

- 安全・安心のアピール
- 都心部や海外からの宿泊客を望めない

3 交通事業者

- 観光客のように長距離移動する場合の、安全・安心の確保

○短期的に必要な取組と役割分担（特に新型コロナウイルス感染症からの回復策に関するもの）

1 観光事業者・観光関係団体

- 安全・安心の確保・アピール
（PCR検査を容易にできる体制整備、安全基準の枠組み・ラベルの提示、正確な情報発信）
- 「東北」を選んでもらうための取組（東北6県の連携、施設等の無料化による街歩きの拡大等）
- 「観光力」の強化（地域を挙げた観光資源の磨き込み、受入体制の充実、広域連携の強化等）
- 国・市町村・県での補助の重複を避ける

2 宿泊事業者

- 安全・安心の確保・アピール（具体的な感染対策の見える化など）
- 地元の宿泊客、特に個人客を中心とした誘客

3 交通事業者

- 観光は様々な業種が関わり合うので、各組織での安全対策を実施する